



2月の園だより

令和 7 年 2 月 1 日
目黒区立田道保育園長

先日、ホールで東部地区の保育園が集まり、ドッジボールで交流会を行いました。チーム分けは人数の少ない園は混合チームとなり5チームを作り、トーナメント方式で行いました。乳児クラスのみ保育園の友達も「がんばって」と応援しに見にきてくれました。どのチームも「絶対勝とうね」と気合も十分に入っていました。試合が始まるとどの子も真剣な表情に変わります。ボールを当ててガッツポーズをとる子やボールを当てられて悔しそうに下を向きながら外野に出ていく姿も見られます。試合が終わると互いに一列に並び「ありがとうございました」と挨拶をします。負けて泣く子もありますが「楽しかった。また一緒にやろうね」と声をかけ合う姿も見られました。試合が終了すると各園の先生が作ってきたメダルを参加した子どもたちに一人ひとりの首にかけてくれました。負けて悔しがっていた子も表情はパッと笑顔に変わりました。首にかけてもらったメダルを見せ合い、互いの頑張りを讃え合いました。小学校に行ったときに「あの時一緒にドッジボールしたね」と、この交流をきっかけに互いに地域の中で顔見知りとなり、少しずつ繋がりが深めていけたらと願っています。1月の後半には田道小学校の1年生の担任の先生を囲んで、懇談会を行いました。各園、「小学校に行くまでにどんなことができれば良いのか」「1年生が例年、入学後に困っていること、不安になること」など質問をしました。「学校までの通学路を保護者と一緒に休みの時に歩いてみる」「子どもたちは初めての事ばかりなので困っている、不安に思っていることを一緒に考えてほしい」と回答が返ってきました。今回話し合った事を保護者の方々に返して、見通しを持って就学につなげていけるようにしていきたいです。



今月の予定

すもう月間

節分

4歳クラス懇談会



『乳児お楽しみ会』

ホールに作った舞台には幼児クラスの子どもたちが描いた絵が飾られ、天井からはらっこ組が模様をつけた星がたくさん輝いていて、始まる前から楽しい気持ちで待っていました。モップ犬が音楽に合わせて踊りながら子どもたちのまわりを回り、ハンドベルの音色に耳を澄ませ、日頃親しんでいる手遊びを全員でやって楽しみました。次に「はらぺこあおむし」のペープサートでした。あおむしの動きに合わせて歌が聞こえてくるたびに身体を左右に揺らして全身で楽しむめだか組。「てぶくろ」の劇では、担任の保育士が動物になりきって出てきたのを嬉しそうに目で追いながら動物達の台詞も真剣な表情で聞いて話を楽しんでいたあひる組。最後に「北風小僧のかんたろう」の歌を前に出て披露してくれたらっこ組は「みんなに見せてあげたい」という気持ちで胸を張って出てきて歌ってくれました。どのクラスの子どもたちもその年齢らしく楽しんで会に参加する姿から成長を感じられる嬉しい会になりました。



～食べるの大好き～

保育園で子ども達が毎日楽しみにしていることの1つは食事です。
今月は乳児クラスの食に関するエピソードを紹介します。

『もぐもぐおいしいね』 0歳児クラス（めだか組）

食事の時間を楽しみにしているめだか組の子どもたち。エプロンと給食帽をつけた保育士が迎えに来たことに気づくと笑顔で食事コーナーに向かっていきます。離乳食から幼児食へと移行し、今では以前より食に興味が出てきて遊びの中で友だちと食べる真似をしたり、食べ物の絵本や果物カードの絵をつまんで食べる真似をしています。「トマトが食べたいな。チーズおいしいね」と保育士の声掛けに合わせて知っている食材を思い出しながら赤と黄色のチェーンリングを渡してくれる姿が出ています。食べる真似をして楽しむ姿が増えてきたので食事の中でも身近な発見を通して色々な食材に触れながら楽しく食事に向かえるようにしていきます。



『おおきくなあれ』 1歳児クラス（あひる組）

あひる組ではブロッコリーを育てていて、苗を子どもたちと植えました。園庭に出る時には子どもたち用の小さなジョウロで水やりをし、水やりをし終わると「おおきくなあれ」「はやくたべたいよ」とつぶやきが聞こえてきます。ブロッコリーの葉っぱが大きくなったことに気づくと「ブロッコリーもう食べられる」と食べられる日が待ち遠しくなって保育士に聞いたり、葉の中央に小さなブロッコリーを見つけると「これは」と聞くので「ブロッコリーの赤ちゃんだね」と話すと「おおきくなってね、よしよし」と優しく撫でています。子どもたちはブロッコリーの生長を楽しみにしながら観察しているのが分かります。野菜に触れる経験を通して食べる楽しさに繋げていきたいです。



『これどこのやさい』 2歳児クラス（らっこ組）

園庭から部屋に戻る途中の調乳室で「きょうのごはんはなんですか」と調理さんに聞いて給食を楽しみにしています。食べ始めると「これおいしいね。こまつなかな。ほうれんそうかな」と似た野菜に気がついたり、「このかぶは、あかかぶのおともだちだね」など自分達で育てている野菜を思い浮かべて嬉しそうに友だちや保育士に伝えています。給食で里芋が出るとにこにこ子ども会にいるか組がやった「大きな里芋」の劇を思い出し「これはいるか組さんの」と聞いたり、人参が出ると「これはお兄さん、お姉さんのだよ」と保育園で他のクラスが育てている野菜にも興味を持つようになってきました。きゅうりは夏にクラスでたくさん収穫しました。目の前で調理してもらい、食べて美味しかったことを思い出し、おかずの皿に盛りつけたきゅうりを見て「これはらっこ組で育てたね」と今でも美味しそうに食べています。現在はチンゲン菜や赤カブに毎日水やりをして生長を見守り、少しずつ大きくなることを喜び、自分達で育てたものが食べられることを楽しみにしています。栽培を通じて食に興味を持ち、様々な食材を食べてほしいです。

